

釧路南ロータリークラブ会報

第30回 例会報告 2014.2.14 通算1525回

・点 鐘 佐藤玄史会長

・ロタリーソング
「我等の生業」



ソングリーダー 佐野 実会員

・入会記念祝

佐藤 玄史会員 H9. 2. 14 (17年目)
亀岡 孝会員 H24. 2. 17 (2年目)

・会長挨拶



こんにちは、今日は2月14日バレンタインデー、チョコレート貰う日じゃないです。本来3世紀に殉教したローマの司祭、聖バレンタインの記念日が、日本の洋菓子メーカー「モロゾフ」が1931年(昭和6年)に商品カタログでチョコを「愛の贈り物」と紹介されたのが始まりとされたとされておるそうです。チョコレート、義理チョコで十分です。さて、先日もIMの協力要請で、ガバナー補佐と実行委員長が各クラブへ訪問されましたが、会長幹事会であらためて協力要請がありました。

具体的には、「元気になる分区」のディスカッションに南クラブから長倉会員が指名されましたのでよろしくお願いたします。田中作次直前 RI 会長の講演、最後に友愛のひろばで、交流会があります。会費はクラブで負担ですのでたくさんの参加をお願いいたします。

・委員会報告
親睦委員会

・本日のニコニコ献金

佐藤 玄史会員 入会記念祝として
亀岡 孝会員 入会記念祝として
長井 一広会員

・本日のプログラム

「世界理解月間に因んで」

担当 国際社会奉仕委員会

◆長井 一広委員長



この2月はRIが指定している世界理解月間に当たりますので、世界理解月間を主なテーマにRI、クラブ、ロータリアンの3つの切り口でお話しします。

RIでは月間テーマというものを10か月にわたり示しています。7月はロータリー年度のスタートの為月間テーマはありません。8月は会員増強・拡大月間、9月は新世代のための月間、10月は職業奉仕・米山月間、11月はロータリー財団月間、12月は家族月間、1月はロータリー理解推進月間、2月は世界理解月間、3月は識字率向上月間、4月は雑誌月間、5月は7月同様テーマは無く、6月はロータリー親睦活動月間と決められています。

さて、2月は「世界理解月間」に指定されています。

す。この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するプログラムを行うよう要請されています。また、1905年2月23日は、ポール・ハリスがスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレの4人でシカゴで初めて会合を開いた日で、ロータリーの設立記念日にあたります。ロータリーではこの日を世界理解と平和の日（World Understanding and Peace Day）と定め、この日の意義を特に強調し、国際理解と友情と平和に向かって献身するよう要請されています。さらに、2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することが決議されています。

ロータリーの活動は、あくまで I Serve、自分がまず参加して行動することが基本となります。また、ロータリアンは、自身がそれぞれの職業の長として決裁権を持つ指導者であり、自分の職場を通して I Serve の精神で活動する職業奉仕が基本です。ところが、ここ10年ほどを見てみますと、アメリカのようにリタイア後、地区のボランティアなどで満足できなかった方がロータリアンになるケースも増え、海外では職業奉仕を重視する空気が薄まりつつあります。

ロータリークラブでは討論会を開催して、公共の問題を論じても差し支えないとされています。ただし、「そのような活動の実施は奉仕の第4部門を助長するものでなければならない」とされており、第4部門というのは国際奉仕です。もし論争点がある場合には双方の主張が十分に提示されなければなりません。RIの方針としては、「ロータリークラブで国際問題を公平な立場で討論するプログラムを退けるものではない」としています。「これらの問題は平和の追求という範囲内において真剣に考え、討論するにふさわしいテーマである」ともされています。

また、RIはロータリーと政治について、「ロータリーの世界中の会員は様々な政治的な見解を持つ個人であるため、国際ロータリーは政治的テーマに関していかなる行動あるいは意見の表明を行わない。ただし、いかなる国または地域においてもロータリーの健全な発展のためには言論の自由、結社の自由は個人の基本的な人権であり、会員が個人として何を言おうとロータリーとして一切関与しないという姿勢です。

ロータリーの世界社会奉仕はWCS（World Community Service）と呼ばれています。「世界社会奉仕プログラムは国際奉仕活動からなる。ロータリアンはこのような活動を通じて人々の生活を改善し、人々のニーズに応えるプロジェクトを実施する。そして、物質的、技術的、専門的援助を通じて国際理解と親善を推進する」とされます。

具体的には、当クラブでも行われておりますが、途上国への浄水器の寄贈、井戸を掘るなどの水資源への援助、小学校の寄贈や書物の寄付といった活動となりますが、それがWCSのすべてではありません。他国のロータリークラブとの姉妹クラブ提携も核再理解と親善を深めるという観点からもWCSということになります。当クラブでは、韓国のセイチンジュクラブとの交流がそれに当たります。最後に、ポール・ハリスは「ロータリーは平和な世界のミニチュアである」と言っていますが、ロータリアンは勿論のこと、ロータリアン以外の人々もロータリーについてよく知っていただくことが世界の平和につながり、平和を作っていく人になりえると思う次第であります。



例会模様



例会模様



・次回のプログラム

2月21日（金）

「クラブフォーラム」

会場 釧路東急イン

担当：奉仕プロジェクト委員会

・点 鐘 佐藤玄史会長

今週の会報担当：長井一広会員